

第4章

プランの推進

- 1 庁内推進体制の充実
- 2 市民参画による推進
- 3 国・県等関係機関との連携及び協力
- 4 数値目標の設定による推進

プランを着実に推進していくために、定期的にプランの進捗状況を確認し、新たな提案等を求めるなど、必要に応じて取組内容を見直すため、次のような体制を整えます。

1 庁内推進体制の充実

プラン策定時に設置した組織を継続又は見直しながら、全庁的な体制を整え、男女共同参画関連事業の情報・意見交換や連携を図る場とし、プランの総合的かつ効果的な推進を図ります。

また、職員が男女共同参画に関して共通の認識を持ち、全庁的に取り組めるよう、研修会等を通じて、職員への意識啓発を行います。

2 市民参画による推進

広く市民の意見を施策に反映させるため、地域・教育・子育て・労政・事業所・学識経験者等で構成される男女共同参画プラン推進会議により、市の事業推進に対して点検・検証及び提言を行います。

男女共同参画の推進に、主体的に取り組んでいる市民・事業所等の取組を支援し、連携を図ります。

3 国・県等関係機関との連携及び協力

国・県等関係機関との情報交換に努め、動向を把握するとともに、連携強化に努めます。

4 数値目標の設定による推進

プランを実効性のあるものとするためには、進捗状況を明確に把握し、実施した施策の成果や達成状況を評価することが重要です。そのため、基本方針ごとに施策の進捗状況を把握するための目標値を設けました。これらの目標値は、計画終了年度となる平成32年度中の達成を目指し、平成27年度までの5年間を前期、その後の5年間を後期として、施策を推進していきます。進捗状況は男女共同参画プラン推進会議等に報告し、市の事業推進に対して点検・検証を行います。

基本目標	基本方針	指標No.	指標名	指標の説明	数値目標		
					現状値 (H21年度)	目標値 (前期) (H27年度)	目標値 (後期) (H32年度)
I あらゆる分野への男女共同参画の促進	I-1 政策・方針決定への女性の参画促進	1	市の審議会等の女性委員の割合(%)	市が設置する審議会、委員会等の女性登用率 ※国・県の目標値に合わせる	34.2 (H22)	40	40
		2	女性の人材リストへの掲載人数(人)	女性の人材リストへの掲載人数 ※前期までに20%増加、前期～後期で10%増加	167	200	220
	I-2 地域社会における男女共同参画の促進	3	地域における男女の平等感「男性優遇」と感じる人の割合(%)	市民意識調査で、地域で「男性が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」と答えた人の割合 ※後期目標は10%減少、前期目標はその中間数値	32.2	27	22
		4	国際交流フェアへの日本人の参加者数(人)	行政と市民が協働で年1回開催する国際交流フェアへの日本人の参加者数 ※前期までに約20%増加、前期～後期で25%増加	580	680	850
II 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり	II-1 男女共同参画に対する理解促進	5	性別役割分担意識にとらわれない人の割合(%)	市民意識調査で、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に反対する人の割合 ※後期目標は県の目標値に合わせ、前期目標はその中間数値	31.9	45	55
		6	社会通念・習慣・しきたりにおける男女の平等感「男性優遇」と感じる人の割合(%)	市民意識調査で、社会通念等で「男性が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」と答えた人の割合 ※後期目標は県の目標値に合わせ、前期目標はその中間数値	70.2	60	55
	II-2 学校教育・保育の場における人権尊重と男女平等の意識づくり	7	学校教育の場における男女の平等感「男性優遇」と感じる人の割合(%)	市民意識調査で、学校教育の場で「男性が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」と答えた人の割合 ※後期目標は県の目標値に合わせ、前期目標はその中間数値	11.8	8.4	5
		II-3 家庭・地域・生涯学習の場における男女共同参画の意識づくり	8	家庭生活における男女の平等感「男性優遇」と感じる人の割合(%)	市民意識調査で、家庭生活上で「男性が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」と答えた人の割合 ※後期目標は県の目標値に合わせ、前期目標はその中間数値	50.5	45
	9		男女共同参画関連の講座への男性の参加者数(人)	男女共同参画講座のほか、家庭教育事業、公民館事業等のうち、男女共同参画に関連する講座への男性の参加者数 ※前期、後期で各30%増加	492	640	830
	II-4 女性に対するあらゆる暴力の根絶と被害者への支援	10	過去1年間にセクハラについて身近な経験があると答えた人の割合(%)	市民意識調査で、過去1年間にセクハラを「自分が直接経験」、「身近に経験した人がいる」、「経験した人から相談された」と答えた人の割合 ※後期目標は約半減、前期目標はその中間数値	9.4	7	4
		11	過去1年間にDVについて身近な経験があると答えた人の割合(%)	市民意識調査で、過去1年間にDVを「自分が直接経験」、「身近に経験した人がいる」、「経験した人から相談された」と答えた人の割合 ※後期目標は約半減、前期目標はその中間数値	10.7	8	5

基本目標	基本方針	指標No.	指標名	指標の説明	数値目標		
					現状値 (H21年度)	目標値 (前期) (H27年度)	目標値 (後期) (H32年度)
Ⅲ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくり	Ⅲ-1 就労環境の改善	12	職場における男女の平等感「男性優遇」と感じる人の割合(%)	市民意識調査で、職場で「男性が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」と答えた人の割合 ※後期目標は県の目標値に合わせ、前期目標はその中間数値	55.6	50	45
	Ⅲ-2 家庭・生活環境の改善	13	保育の充実や子育て支援の満足度(%)	市民意識調査で、当該施策を「満足」、「やや満足」と答えた人の割合 ※後期目標は10%増加、前期目標はその中間数値	15.3	20	25
		14	希望どおりにワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる人の割合(%)	市民意識調査で、毎日の生活(仕事、家庭生活、地域活動、趣味など)のバランスが「希望どおり」、「どちらかといえば希望どおり」と答えた人の割合 ※後期目標は10%増加、前期目標はその中間数値	45.2	50	55
Ⅳ 生涯を通じた健康で安定した生活の確保	Ⅳ-1 生涯を通じた健康の保持・増進	15	1歳6か月児健診受診率(%)	1歳6か月児健診受診率 ※5年ごとに約2%ずつ増加	93.2	95	97
		16	①乳がん検診受診率(%)	乳がん、子宮がん検診の受診率 ※後期目標は県の目標値に合わせ、前期目標はその中間数値	①40.6	①45	①50
	②子宮がん検診受診率(%)		②40.9		②45	②50	
	Ⅳ-2 家庭生活の安定と福祉の充実	17	障害のある人への理解度(%)	市民意識調査で、障害者(児)施策を「重要」、「やや重要」と答えた人の割合 ※前期までに約4%増加、前期～後期で3%増加	65.9	70	73
18		高齢者福祉・介護保険サービス・生きがいづくりの満足度(%)	市民意識調査で、当該施策を「満足」、「やや満足」と答えた人の割合 ※前期までに約2%増加、前期～後期で3%増加	14.7	17	20	